

《第131回》 令和六年五月の作品

〈五月十日（金） 於・文京区民センター3E〉

駅毎に花の歓迎小海線 (奉男)

老鶯や水辺は風の通りみち (一江)

古刹へとたどる裏道竹の秋 (隆治)

手分けして辣韭漬けるタベかな (貴美)

断捨離の手を休めゐて目白かな (正雄)

和やかな眼まなこの妻や水の春 (前歩)

憲法記念日恩師と共に集ひけり (芙紗)

初夏や音沙汰のなき友訪ね (孝昭)

日本ダービー

頂点に立つも運なり風薫る (正佳)

春風や遠くにみえる空の果て (平六)